



企業理念

私たちは
総合物流企業として
物を安全・確実に
運ぶことを使命とし
経済・社会の発展に
貢献します



東部ネットワーク株式会社



代表取締役社長

若山良孝

Q. 当期の取り組みと業績についてお聞かせください

3PL事業を柱とした積極的な輸送提案と同時に、非効率・不採算拠点の見直しを行い、経営体質の強化を図りました

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルスが猛威を振るい、予断を許さない状況が続いております。感染症に罹患された方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復をお祈り申し上げます。

ここに第108期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の業況をご報告申し上げます。

当社の主力事業であります貨物自動車運送業界におきましては、コロナ禍に起因する働き方やライフスタイルの変化に伴い、通販需要の拡大で小型車による宅配貨物の輸送量は大幅に増加し、回復基調は見られたものの、大型トラックによる一般貨物輸送につきましては、経済活動全般の停滞と需要低迷により、国内貨物輸送量の減少傾向が続き、極めて厳しい経営環境となりました。

このような環境のもと、当社では、従業員とその家族の健康維持を最優先として感染予防・感染拡大防止の取り組みを継続し、状況に応じた対策を講じながら、3PL事業（物流の一括受注）を柱とした積極的な輸送提案により、収益基盤の改善に注力し、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に取り組んでまいりました。また、非効率・不採算拠点の見直しを早急に推し進め、保有資産の最適利用と経営体質の強化を図ってまいりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は105億7千3百万円（前年同期比16.1%減）、営業利益6億2千9百万円（前年同期比3.5%減）、経常利益7億5千5百万円（前年同期比10.4%増）、当期純利益は、第4四半期会計期間において不採算営業所の閉鎖により、減損損失1億6千7百万円を計上いたしましたので、4億1千3百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

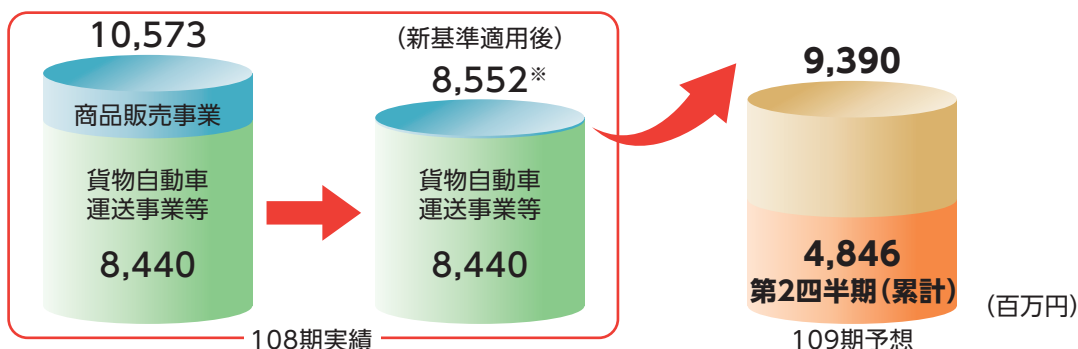
今後も次なる成長ステージを目指すため、引き続き提案型営業を推進するとともに、より迅速・柔軟に対応できる体制の構築の実現に向け、スピード感のある取り組みを展開してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、何卒今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

109期通期業績予想

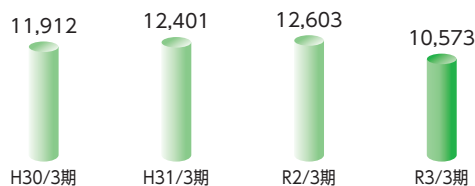
売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
9,390百万円 (9.8%増)	641百万円 (1.8%増)	690百万円 (8.6%減)	491百万円 (18.8%増)

■売上高 ※以下の108期実績数値の右グラフは、109期の収益認識基準を適用したと仮定して算定した数値となっております。

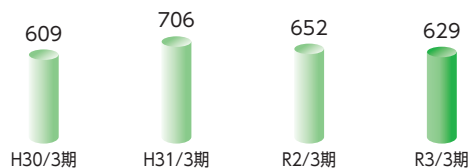


業績ハイライト

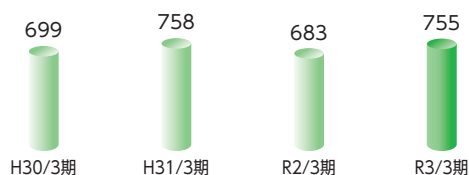
売上高 (百万円) **10,573** 百万円
(前年同期比16.1%減)



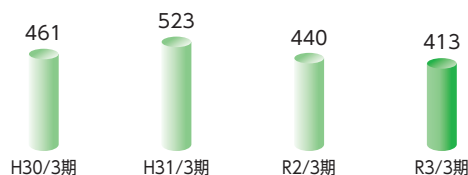
営業利益 (百万円) **629** 百万円
(前年同期比3.5%減)



経常利益 (百万円) **755** 百万円
(前年同期比10.4%増)

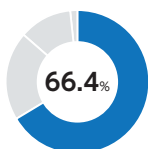


当期純利益 (百万円) **413** 百万円
(前年同期比6.3%減)



事業の概況

貨物自動車運送事業



70億2千3百万円
(前年同期比18.5%減)

荷動きが低調の中、コスト低減管理強化により減収増益

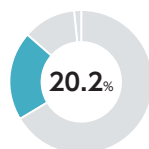
飲料輸送は、新型コロナウイルス感染拡大による、4月の緊急事態宣言を受け、休業要請や外出自粛の強まりを背景に個人消費の急激な低下により、販売数量が減少したことで輸送数量も減少いたしました。更に大型連休の消費増に伴った輸送増も逸したことや、度重なる緊急事態宣言の発令等により、経済活動は大きな制約を受け、主力の飲料業界の販売が伸び悩むなど、個人消費の低迷が続き物量の減少傾向が長期化したことから、大幅な減収となりました。セメント輸送は、セメント生産の減少傾向が継続している影響で受注量が減少し減収となりました。

この結果、当事業の売上高は、関連業務の荷役・保管作業収入を含め、70億2千3百万円（前年同期比18.5%減）となり、セグメント利益は、減収予測を背景に収益対策に着手し、新規の設備投資を中止したことで、減価償却費を抑え、修繕費などのコスト低減管理を強化し、減収による不採算事業を見直した他、燃料費の低下も相まって事業コストが減少した結果、3億6千2百万円（前年同期比9.8%増）となりました。



稼働中の東部滋賀物流センター

商品販売事業

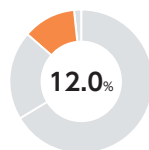


21億3千3百万円
(前年同期比15.9%減)

石油販売・セメント販売共に減収。セグメント利益は前期並みを確保したものの減益

当事業の売上高は21億3千3百万円（前年同期比15.9%減）となり、セグメント利益は前期並みに留まり1千8百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

不動産賃貸事業



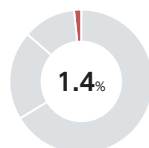
12億6千9百万円
(前年同期比1.3%減)

自社施設のオフィスビルにて一部空室が発生し減収減益

当事業の売上高は12億6千9百万円（前年同期比1.3%減）となり、セグメント利益は6億1千8百万円（前年同期比3.0%減）となりました。



その他事業



1億4千7百万円
(前年同期比8.2%減)

自動車整備事業は外販の整備受注が減少したことにより減収減益

当事業の売上高は1億4千7百万円（前年同期比8.2%減）となり、セグメント利益は1千9百万円（前年同期比29.0%減）となりました。

会社概要

会社概要 (令和3年3月31日現在)

商号	東部ネットワーク株式会社 (TOHBU NETWORK CO.,LTD.)
設立年月日	昭和18年12月30日
資本金	5億5,303万1,250円
主要な事業内容	貨物自動車運送事業 商品販売事業 不動産賃貸事業 その他事業
従業員数	合計304名

株式の状況 (令和3年3月31日現在)

株式の状況

(1) 発行可能株式総数	22,996,000株
(2) 発行済株式総数	5,749,000株
(3) 1単元の株式数	100株
(4) 株主数	844名
(5) 大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
中村 巨宏	1,415	25.95
アサガミ株式会社	321	5.88
BBH	175	3.21
株式会社みずほ銀行	131	2.40
中村 千鶴子	120	2.20
三井住友信託銀行株式会社	110	2.01
中村 匡宏	101	1.85
丸全昭和運輸株式会社	100	1.83
芦原 一義	98	1.79
山本 穰	88	1.61

(注) 持株比率は自己株式297千株を控除して計算しております。

株主メモ

- 事業年度…………… 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会…………… 毎年6月開催
- 基準日…………… 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日(中間配当をする場合)
その他必要ある場合はあらかじめ公告して基準日を定めます。
- 株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人
事務取扱場所…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/>
- 公告の方法…………… 電子公告により行います。
<https://www.tohbu.co.jp/>
やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所…………… 東京証券取引所JASDAQ市場(スタンダード)
- 証券コード…………… 9036

HP案内

当社は、株主・投資家の皆さまおよび一般の方々に当社の事業活動についてご理解いただくため、ホームページ内でさまざまな情報を掲載しております。

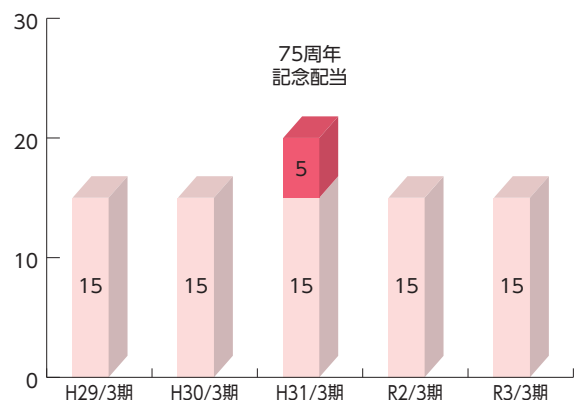


役員一覧 (令和3年6月25日現在)

取締役社長 (代表取締役)	若山 良孝	取締役	野口 誠
専務取締役 兼専務執行役員 (代表取締役)	三澤 秀幸	取締役	福田 哲郎
取締役 兼執行役員	伊藤 進	常勤監査役	高山 裕之
取締役 兼執行役員	安藤 功	監査役	稲村久仁雄
		監査役	尾崎 真二

(注) 1. 取締役のうち野口誠および福田哲郎の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役のうち稲村久仁雄および尾崎真二の両氏は、社外監査役であります。

配当金の推移 (円)



株主の皆さまの声をお聞かせください

当社は、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9036

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jp へ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を呈呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

株主アンケート結果ご報告

第108期中間株主通信においてお願いいたしました「株主アンケート」にて株主の皆さまからのご回答を頂戴いたしました。

株主の皆さまからのご意見(一部)

- 新型コロナウイルスの影響は継続していますが、社員の雇用を第一に考え、会社のかじ取りをお願いします。
- コロナ禍で売り上げが落ちる中、利益を確保されていると知り、経営者、従業員の方々の努力に感謝します。運転される方の労働環境へも配慮しつつ、私たちの生活の基盤である物流をこれからも支えてください。
- 増配、株主優待新設等株主還元強化を期待します。

皆さまからご意見を頂戴しましたこと心からお礼申し上げます。ご回答内容を真摯に受け止め、今後の株主通信発行、またIR活動に活かしてまいります。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。